

無線LAN設定バーコード印刷ツール Ver.2.26 ご利用ガイド

カシオ計算機株式会社
システム事業推進部

2026年1月21日

1.概要

1.概要

1.1. 目的

本ツールは、カシオ計算機製携帯端末に各種設定を行うための、バーコードを印刷するツールです。印刷したバーコードは、携帯端末用のアプリケーション「バーコード設定ツール」で読み込みます。「バーコード設定ツール」では、無線LANなどの通信関係を中心に、以下のような端末設定を行うことができます。。

- 「所有者情報」で設定する内容（名前部分のみ）
- 無線LAN設定
- LAN設定
- WAN設定
- モジュール更新ツール接続設定 ※WindowsCE/Mobileモデルのみ
- CTM接続設定 ※CTMをご利用されている場合のみ

本ツールおよび「バーコード設定ツール」を利用することで、端末の開梱→ネットワークの設定→モジュール更新までを簡単に設定／実行することが可能となります。

1.概要

1.2. 機能の構成

本ツールで提供する機能の一覧を以下に記します。

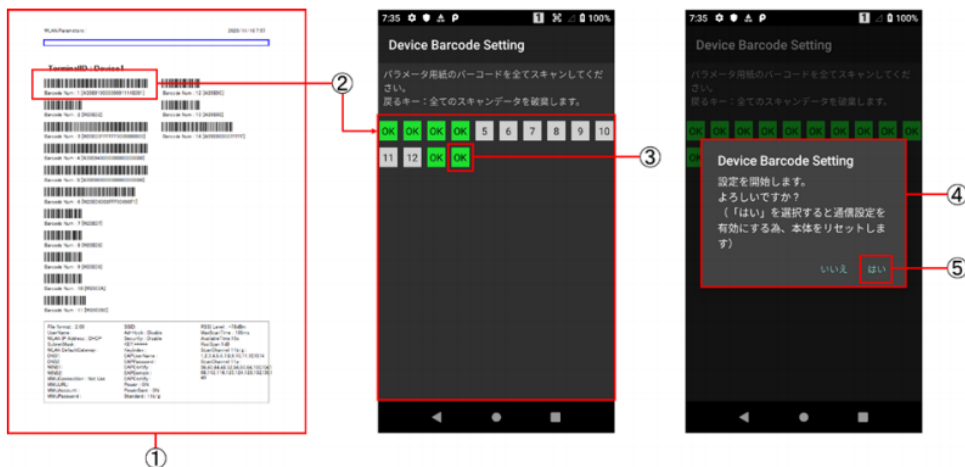
番号	機能	概要説明
1	端末設定データ構築	各端末の設定を行います。
2	端末設定バーコード印刷	1.で設定した内容を端末側の「バーコード設定ツール」で読み込み可能なバーコードに印刷します。

※端末側は、無線LAN設定ツールで、本ツールから印刷した設定バーコードを読み込みます。

1次元バーコードの場合、読み込み順序は、順不同です。

端末側は設定完了後、電源が自動的にOFFになります。

●Androidモデルでの使用イメージ



<使用手順>

1. 「無線 LAN 設定バーコード印刷ツール」を用いて設定用バーコードを作成します。
2. 本アプリケーションを起動し、設定用バーコードを1つでも読取ると確認フィールドにボックスが表示されます。印刷したすべてのバーコードを読取る必要があります。
3. バーコードの読取りが成功すると読取った番号は「OK」表示に変わり緑色になります。
4. 全てのバーコードを読取ると確認ダイアログを表示して端末に設定します。
5. 設定後は自動的に端末が再起動します。

1.概要

1.3. Ver2.22以降のバージョンアップ内容について

- **WiFi設定項目に対し下記のように入力可能な内容を変更しました。(Ver2.22)**
SSID：32文字まで入力可能に変更
PSK(Key)：記号も入力可能に変更(psk64のヘキサ文字は非サポートです)
EAPパスワード：64文字まで入力可能に変更
- **300件以上の保存設定データを読み込み時に読み込みに時間がかかる可能性がある旨の警告ダイアログを表示するようにしました。(Ver2.22)**
- **「先頭と同じにする」機能を利用するとWiFiの規格が変わってしまう問題に対応しました。(Ver2.22)**
- **印刷オプションの「端末設定内容を印刷する」を有効にした場合、端末機種を確認し、Android端末の場合、Android端末の設定可能内容のみ印刷するように仕様を変更しました。(Ver2.22)**
- **DT-X450に対応しました。(Ver2.23)**
- **WAN 認証方式に「PAP またはCHAP」を追加しました。(Ver2.24)**
- **Ver2.22以降、CSVインポートにおいて「機種名」が全て「CTM」で固定されてしまう不具合に対応しました。(Ver2.25)**
- **DT-X450設定のCSVを読み込むとエラーが発生して読み込めない件に対応しました。(Ver2.26)**
- **機種名で作成したcsvをインポートしても、バージョン表記の項目がでるように対応しました。(Ver2.26)**

1.概要

1.4. 動作環境

本ツールの動作環境について以下に記します。

- ハードウェア要件：
IBM/PC AT互換PC
- OS要件：
Windows 10 Pro(32/64bit), Windows 11 Pro(64bit)
- プリンタ要件：
用紙サイズ A4縦に対応している
バーコード印刷に適している
- 対応ロケール：
日本語※
- 必須ソフトウェア：
.Net Framework 3.5以上

＜対応端末＞

- Androidモデル
DT-X450/IT-G600/IT-G650/
DT-X400/ET-L10/IT-G400
- WindowsCE/Mobileモデル
DT-5300/DT-X7/DT-X8/IT-300/
DT-X100/DT-X200/IT-G500/
IT-9000

※英語版は無線バーコード設定ツール 英語版にて対応しています。

2.機能詳細

2.機能詳細

2.1. 起動引数

本ツールは、起動引数を設定し呼び出すことが可能です。
以下に起動引数を示します。

WlanBarcodePrinter.exe [定義ファイル].xml

[説明]

定義ファイルを読み込んで起動します。

定義ファイルを指定せずに起動した場合は、定義ファイルなしの状態ですべて起動します。

この場合、編集ファイル保存時にファイル名確認ダイアログを表示します。

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.1 設定編集画面

バーコード印刷ツール [D:\wlanbarcode.xml]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

共通タイトル

			端末名と使用者名							
	印刷	機種	端末名	使用者名	IPアドレス	マスク	ゲートウェイ	DNS1	DNS2	WINS
▶ 1	<input checked="" type="checkbox"/>	IT-G500	0001	F1P00B13	129.1.61.29	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
2	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0002	F1P08B14	129.1.61.30	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
3	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0003	F3P08B14				129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
4	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0004	F1P16B15	129.1.61.31	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
5	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0005	F1P24R16	129.1.61.32	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
6	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0006	② 設定一覧	129.1.61.33	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
7	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0007	F1	129.1.61.34	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
8	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0008	F1P32B17	129.1.61.35	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
9	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0009	F1PxxBxx	129.1.61.36	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
10	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0010	F1P40B18	129.1.61.36	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
11	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0011	F1PxxBxx	129.1.61.37	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
12	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0012	F1P48B19	129.1.61.37	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
13	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0013	F1P56B20	129.1.61.38	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
14	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0014	F1	129.1.61.39	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
15	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0015	F1	129.1.61.40	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173
16	<input type="checkbox"/>	IT-G500	0016	F1P64B21	129.1.61.41	255.255.255.0	129.1.61.200	129.1.20.171	129.1.20.172	129.1.20.173

入力文字数 / 最大入力文字数 -- / --


番号	機能	概要説明
1	共通タイトル	バーコード印刷時に、共通して印刷されるタイトル文字です。定義ファイルごとに1つ設定可能です。実際の印刷イメージは「3 端末設定バーコード印刷フォーマット」を参照してください。
2	設定一覧	各端末に対する設定です。設定項目名にカーソルに合わせると説明が表示されます。設定項目名をクリックすることで昇順/降順のソートを行います。設定項目詳細は「2.3.5 設定項目詳細」を参照してください。

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.2 設定コンテキストメニュー

「2.3.1編集画面」の「設定一覧」で右クリックした際に表示するコンテキストメニューの内容を以下に示します。

項目	機能説明
	切り取り(T)
	コピー(C)
	貼り付け(P)
	行挿入(I)
	行追加(A)
	設定値編集(E)
	行追加+設定値編集(D)
	先頭と同じにする(Y)
	先頭から連番にする(T)
	選択した項目(セル)の値をクリップボードにコピー後、当該項目(セル)は初期化されます。(初期値の設定してあるセルは初期値にもどります。) クリップボードにはタブ区切りのCSVデータとして保存します。行が選択状態場合は、行の内容をタブ区切りのCSVデータとしてクリップボードに保存した後に行を削除します。
	選択した項目(セル)の値をクリップボードにコピーします。行が選択状態場合は、行の内容をタブ区切りのCSVデータとしてクリップボードに保存します。
	選択した項目(セル)に切り取りもしくはコピーされた値を貼り付けます。この際、クリップボードの内容と項目(セル)の整合性は検証しません。行の内容を貼り付けた場合、選択した位置から行を挿入します。
	選択した位置の上段に行を追加します。
	末尾に行を追加します。
	編集中の行に対して設定値編集フォームを起動します。
	行追加を行ったあと設定値編集フォームを起動します。
	単一カラムの複数項目(セル)を選択した場合、最上位の内容に全てを揃えます。
	単一カラムの複数項目(セル)を選択した場合、最上位の内容から連番を設定します。 (IP、端末名、LAN IPのみ設定できます)

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.3 列編集

列編集は、[2.3.1編集画面]の設定項目の表示/非表示を選択します。列編集は「2.2. メインメニュー」の「表示(V)」の「列編集(O)」を選択することで表示されます。



番号	機能	概要説明
1	項目	項目名に対応するチェックボックスをチェックすると表示・チェックを外すと非表示になります。 「全体」という項目名はチェックすると項目すべてをチェックし、外すとすべてのチェックをはずします。
2	取消	内容を破棄してから、「編集画面」に戻ります。
3	設定	設定を反映させて、「編集画面」に戻ります。

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.4 設定値編集

設定値編集は、「2.3.1編集画面」の「設定一覧」の設定行を見やすく編集するためのものです。セルを選択し、メインメニューの「編集(E)」を選択し「設定値編集 (E)」 「追加+設定値編集 (D)」を選択し起動するか、「設定一覧」のセルを右クリックし「設定コンテキストメニュー」を呼び出し「設定値編集 (E)」 「追加+設定値編集(D)」を選択することで起動できます。

番号	機能	概要説明
1	機種選択	設定を行う機種を選択します。
2	グループメニュー	設定値の分類が表示されており、クリックするとそのグループが表示されている画面にスクロールします。
3	グループ	設定のおおまかなグループ名
4	設定項目	設定項目です。入力すると、入力値の検査をおこないます。入力が異常な場合は背景の色がピンクになります。入力することで入力できる項目がピンク色になります。
5	備考欄	入力している項目の内容についての説明が表示されます。
6	入力文字数欄	入力している項目について入力している文字数と入力できる最大入力文字数が表示されます。
7	取消	すべての編集を破棄して設定値編集を終了し、「編集画面」に戻ります。
8	設定	設定項目をすべて「編集画面」に反映させて「編集画面」に戻ります。

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.5 設定項目詳細 ①

端末ごとに設定する設定項目について以下に示します。

機種に設定した内容及び設定内容により、
設定可能な項目に対し設定できます。
(設定不可な項目はグレイアウトもしくは
エラーとなります。)

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
1	-	印刷	チェックボックス	メインメニューの「ファイル」→「印刷プレビュー」もしくは「印刷」で対象とする端末を選択します。	-
2	-	機種	プルダウン	機種名を選択します。	-
3	-	端末名	文字列	印刷したバーコードに出力する端末ごとの名称です。連番付与対象です。 本データは、バーコードシートと端末を一致させる情報としてバーコードと共に印刷します。 ※Casio Terminal Managementをお使いの場合、「デバイス名」として使用します。	任意64文字 ※漢字は2文字換算
4	1	使用者名	文字列	端末の使用者情報に記録する名称です。	英数+簡易記号(コード: 0x20~0x7e) ※16文字
5	2	IPアドレス	文字列	無線LANのIPアドレスです。連番付与対象です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.50)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合はDHCP設定扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
6	3	マスク	文字列	無線LANのサブネットマスクです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 255.255.255.0)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は255.255.255.0設定扱いとなります。 IPアドレスの設定がDHCP設定扱いの場合、入力できません。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	数字+ピリオド ※15文字
7	4	ゲートウェイ	文字列	無線LANのデフォルトゲートウェイアドレスです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。 IPアドレスの設定がDHCP設定扱いの場合、入力できません。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	数字+ピリオド ※15文字
8	5	DNS1	文字列	無線LANのDNS1です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
9	6	DNS2	文字列	無線LANのDNS2です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
10	7	WINS1	文字列	無線LANのWINS1です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
11	8	WINS2	文字列	無線LANのWINS2です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド ※15文字
12	9	SSID	文字列	端末が無線LANを用いて接続するアクセスポイントのSSIDです。	英数+簡易記号(コード: 0x20~0x7e) ※16文字(Format3) ※32文字(Format4)
13	10	アドホック	チェックボックス	SSIDで指定したアクセスポイントがアドホックかどうかを指定します。	-

2.機能詳細

2.3. 設定編集

機種に設定した内容及び設定内容により、
設定可能な項目に対し設定できます。
(設定不可な項目はグレイアウトもしくは
エラーとなります。)

2.3.5 設定項目詳細 ②

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
14	11	セキュリティ	ブルダウン	<p>アクセスポイントのセキュリティ方式を以下から選択します。</p> <p>1.無効 2.WEP(128bit)+OPEN 3.WEP(128bit)+共有 4.WEP(128bit)+EAP-MD5 5.WEP(64bit)+OPEN 6.WEP(64bit)+共有 7.WEP(64bit)+EAP-MD5 8.WEP+EAP-PEAP 9.WEP+EAP-TLS 10.WPA+PSK 11.WPA+EAP-PEAP 12.WPA+EAP-TLS 13.WPA2+PSK 14.WPA2+EAP-PEAP 15.WPA2+EAP-TLS 16.[SUP]Open+None 17.[SUP]Open+WEP 18.[SUP]Shared+WEP 19.[SUP]802.1X+WEP-FAST-MSCHAPv2 20.[SUP]802.1X+WEP-FAST-GTC 21.[SUP]802.1X+WEP-LEAP 22.[SUP]802.1X+WEP-PEAPv0-MSCHAPv2 23.[SUP]802.1X+WEP-PEAPv1-MSCHAPv2 24.[SUP]802.1X+WEP-PEAPv1-GTC 25.[SUP]802.1X+WEP-TLS 26.[SUP]802.1X+WEP-TTLS-MD5 27.[SUP]802.1X+WEP-TTLS-MSCHAPv2 28.[SUP]802.1X+WEP-TTLS-GTC 29.[SUP]WPA-Personal (PSK)+AES 30.[SUP]WPA-Personal (PSK)+TKIP 31.[SUP]WPA-Personal (PSK)+TKIP+AES 32.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-FAST-MSCHAPv2 33.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-FAST-GTC 34.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-LEAP 35.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv0-MSCHAPv2 36.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv1-MSCHAPv2 37.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv1-GTC 38.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-TLS 39.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-MD5 40.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-MSCHAPv2 41.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-GTC 42.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-FAST-MSCHAPv2 43.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-FAST-GTC 44.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-LEAP 45.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv0-MSCHAPv2 46.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv1-MSCHAPv2 47.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv1-GTC 48.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-TLS 49.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-MD5 50.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-MSCHAPv2 51.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-GTC 52.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-FAST-MSCHAPv2 53.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-FAST-GTC 54.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-LEAP 55.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv0-MSCHAPv2 56.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv1-MSCHAPv2 57.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv1-GTC 58.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TLS 59.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-MD5 60.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-MSCHAPv2 61.[SUP]WPA-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-GTC 62.[SUP]WPA2-Personal (PSK)+AES 63.[SUP]WPA2-Personal (PSK)+TKIP 64.[SUP]WPA2-Personal (PSK)+TKIP+AES 65.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-FAST-MSCHAPv2 66.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-FAST-GTC 67.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-LEAP 68.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv0-MSCHAPv2 69.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv1-MSCHAPv2 70.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-PEAPv1-GTC 71.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-TLS 72.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-MD5 73.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-MSCHAPv2 74.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+AES-TTLS-GTC 75.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-FAST-MSCHAPv2 76.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-FAST-GTC 77.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-LEAP 78.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv0-MSCHAPv2 79.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv1-MSCHAPv2 80.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-PEAPv1-GTC 81.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-TLS 82.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-MD5 83.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-MSCHAPv2 84.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP-TTLS-GTC 85.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-FAST-MSCHAPv2 86.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-FAST-GTC 87.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-LEAP 88.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv0-MSCHAPv2 89.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv1-MSCHAPv2 90.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-PEAPv1-GTC 91.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TLS 92.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-MD5 93.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-MSCHAPv2 94.[SUP]WPA2-Enterprise (EAP)+TKIP+AES-TTLS-GTC</p> <p>WPA2未搭載機種では、13,14,15を設定しないでください。セキュリティを変更した場合は、KEY等を必ず再設定してください。 [SUP]と記載されている項目は出力方式4.0以上で設定できます。</p>	-

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.5 設定項目詳細 ③

機種に設定した内容及び設定内容により、
設定可能な項目に対し設定できます。
(設定不可な項目はグレーアウトもしくは
エラーとなります。)

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
15	12	KEY	文字列	SSIDに対応したKEYです。セキュリティ方式 2,3,4,5,6,7,10,13 の場合に入力可能となります。 セキュリティ方式を変更した場合は、既入力内容は消去されます。	セキュリティ方式毎に文字数が変化 [2,3,4] HEX大文字 最大26文字 [5,6,7] HEX大文字 最大10文字 [10,13] 英数文字+簡易記号 最大64文字 ※HEX文字：16進数表現で使用するA～F+0～9までの文字 (HEX64文字は未サポート) ※簡易記号 (コード：0x20～0x7e)
16	13	Index	プルダウン	キーインデックスです。セキュリティ方式2,3,4,5,6,7の場合にの場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	-
17	14	EAPユーザ名	文字列	EAP認証をする際に使用するユーザ名です。セキュリティ方式4,7,8,9,11,12,14,15の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。) ※WindowsMobileモデルでは設定内容は反映されません。	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※64文字
18	15	EAPパスワード	文字列	EAPユーザに対応したパスワードです。セキュリティ方式4,7,8,11,14の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。) ※WindowsMobileモデルでは設定内容は反映されません。	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※64文字
19	16	EAP証明書	文字列	EAP認証をする際に使用する証明書名です。セキュリティ方式9,12,15の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※32文字
20	17	EAPドメイン	文字列	EAP認証をする際に使用するドメインです。セキュリティ方式4,7,8,9,11,12,14,15の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。) ※WindowsMobileモデルでは設定内容は反映されません。	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※32文字
21	18	EAP認証確認	チェックボックス	EAP認証有効フラグです。セキュリティ方式4,7,8,9,11,12,14,15の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。) ※WindowsMobileモデルでは設定内容は反映されません。	-
22	-	EAP匿名ID	文字列	EAP匿名IDです。セキュリティ方式19,20,22,23,24,25,26,27,28,32,33,35,36,37,38,39,40,41,42,43,45,46,47,48,49,50,51,52,53,55,56,57,58,59,60,61,65,66,68,69,70,71,72,73,74,75,76,78,79,80,81,82,83,84,85,86,88,89,90,91,92,93,94 の場合に 入力可能となります。	-
23	-	EAPトンネルPAC	文字列	EAPトンネルPACです。セキュリティ方式19,20,32,33,42,43,52,53,65,66,75,76,85,86の場合に入力可能となります。	-
24	-	EAPマシンPAC	文字列	EAPマシンPACです。セキュリティ方式19,20,32,33,42,43,52,53,65,66,75,76,85,86の場合に入力可能となります。	-
25	-	EAPプロビジョニング	プルダウン	EAPプロビジョニングです。セキュリティ方式19,20,32,33,42,43,52,53,65,66,75,76,85,86の場合に入力可能となります。	-
26	-	MMU接続方式	プルダウン	モジュール更新ツール接続方式を以下から選択します。 1.使用しない 2.ファイル共有 3.FTP 4.HTTP	-
27	-	MMUURL	文字列	モジュール更新サーバURLです。MMU接続形式でFTPを選択した場合、ftp://[MMU_URL] にアクセスします。 MMU接続方式が2,3の場合に入力可。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	英数+簡易記号(コード：0x20～0x7e) ※192文字
28	-	MMUアカウント	文字列	モジュール更新サーバ接続アカウントです。空白の場合、anonymousで接続します。 MMU接続方式が2,3の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	英数16文字
29	-	MMUパスワード	文字列	MMUアカウントに対応したパスワードです。MMU接続方式が2,3の場合に入力可能となります。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	英数8文字

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.5 設定項目詳細 ④

機種に設定した内容及び設定内容により、設定可能な項目に対し設定できます。
(設定不可な項目はグレイアウトもしくはエラーとなります。)

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
30	19	電源	チェックボックス	無線LAN電源のON/OFFです。	-
31	20	省電力	チェックボックス	無線LANモジュールの省電力設定ON/OFFです。	-
32	21	規格	プルダウン	無線規格を以下から選択します。 1.11b 2.11b/g 3.11a 4.11abg 5.11bgn 6.11a/n 7.11abgn ※3.と4.は「出力方式」で2.0を選択、もしくはDT-5300(11aモデル)/IT-800(11aモデル)を選択した場合のみ設定可能です。 ※5.と6.と7.は「出力方式」で3.0/4.0を選択、もしくはIT-G500/DT-X100/DT-X200を選択した場合のみ設定可能です。	-
33	22	RSSI	文字列	ローミングを開始するRSSIレベルです。デフォルト値は"78"です。 範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	1～200までの整数
34	23	スキャンチャンネル(11b/g)	文字列	1～14までのスキャンチャンネルで使用するチャンネル番号をカンマ区切りで列挙します。	-
35	24	スキャンチャンネル(11a)	文字列	36～140までのスキャンチャンネルで使用するチャンネル番号をカンマ区切りで列挙します。 ※「出力方式」で1.0を選択した場合は設定できません。	-
36	25	最大スキャン時間	文字列	チャンネルあたりの最大スキャン時間(ms)です。デフォルト値は"105"です。 範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	20～1000までの整数
37	26	AvailableTime	文字列	一度ローミングに成功した後、次にローミング動作を開始するまでの時間(秒)です。デフォルト値は"15"秒です。 範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	1～120までの整数
38	27	RssiSpan	文字列	ローミング開始判断ローミング候補アクセスポイントと現接続中アクセスポイントの最低電界強度差(dB)です。 デフォルト値は"1"です。範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	1～10までの整数
39	28	優先周波数帯	コンボボックス	優先周波数帯です。デフォルト値は"Not Specified"です。	-
40	29	優先周波数帯レベル	文字列	優先周波数帯接続時のローミング基準値に加算する値。デフォルト値は"0"です。 範囲外の数値を入力した場合は確定時にデフォルト値へ置き換わります。	0～78までの整数
41	-	LAN IPアドレス	文字列	有線LANのIPアドレスです。連番付与対象です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.50)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合はDHCP設定扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字
42	-	LAN マスク	文字列	有線LANのサブネットマスクです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 255.255.255.0)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は255.255.255.0の設定扱いとなります。 IPアドレスの設定がDHCP設定扱いの場合、入力できません。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	数字+ピリオド 15文字
43	-	LAN ゲートウェイ	文字列	有線LANのデフォルトゲートウェイアドレスです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。 IPアドレスの設定がDHCP設定扱いの場合、入力できません。 (入力不可の場合でも既入力値は保持します。しかし印刷はしません。)	数字+ピリオド 15文字
44	-	LAN DNS1	文字列	有線LANのDNS1です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字
45	-	LAN DNS2	文字列	有線LANのDNS2です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字
46	-	LAN WINS1	文字列	有線LANのWINS1です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字
47	-	LAN WINS2	文字列	有線LANのWINS2です。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例: 128.1.1.1)。 IPアドレスとして認識できない場合や空白の場合は設定なし扱いとなります。	数字+ピリオド 15文字

2.機能詳細

2.3. 設定編集

2.3.5 設定項目詳細 ⑤

機種に設定した内容及び設定内容により、
設定可能な項目に対し設定できます。
(設定不可な項目はグレイアウトもしくは
エラーとなります。)

No	図番号	項目	属性	説明	入力制限
48	-	エントリー名	文字列	WANを識別するための、任意のエントリー名を指定します。	英数16文字
49	-	APN	文字列	WAN接続するアクセスポイント名(APN)を指定します。	英数164文字
50	-	ユーザ名	文字列	WAN接続時のユーザ名を指定します。	英数64文字
51	-	パスワード	文字列	WAN接続時のパスワードを指定します。	英数128文字
52	-	認証方式	プルダウン	WAN接続時の認証方式を以下から選択します。 1.なし 2.PAP 3.CHAP 4.PAPまたはCHAP	-
53	-	CTMサーバーIP	文字列	Casio Terminal Management の管理サーバーのIPアドレスです。10進数をピリオド区切りで4つ指定します(例：128.1.1.50)。	数字+ピリオド 15文字
54	-	CTMサーバーポート	文字列	Casio Terminal Management の管理サーバーのポート番号です。	数字5文字

No.12 SSID～No.25 EAPプロビジョニングの無線LAN接続設定グループは、3つまで設定することができます。この一覧では設定内容が被るので割愛します。

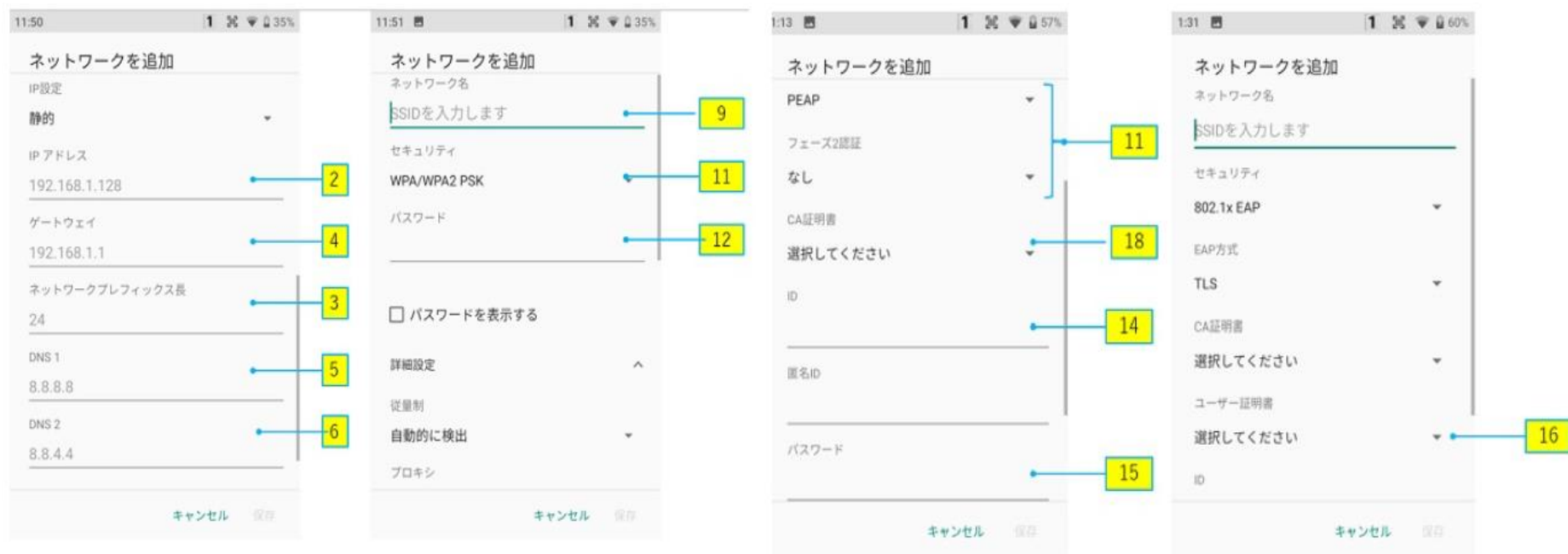
2.機能詳細

2.3. 設定編集

機種と設定項目の設定仕様については、製品のヘルプの「4.付録1」をご確認ください。

2.3.6 設定項目と端末側設定ツール画面例(Android)

本ツールの主な設定項目と、端末側の設定ツール「所有者情報」「無線LAN設定」の設定画面との対応表を以下に示します。番号は「2.3.3 端末設定項目詳細」で示した図番号です。



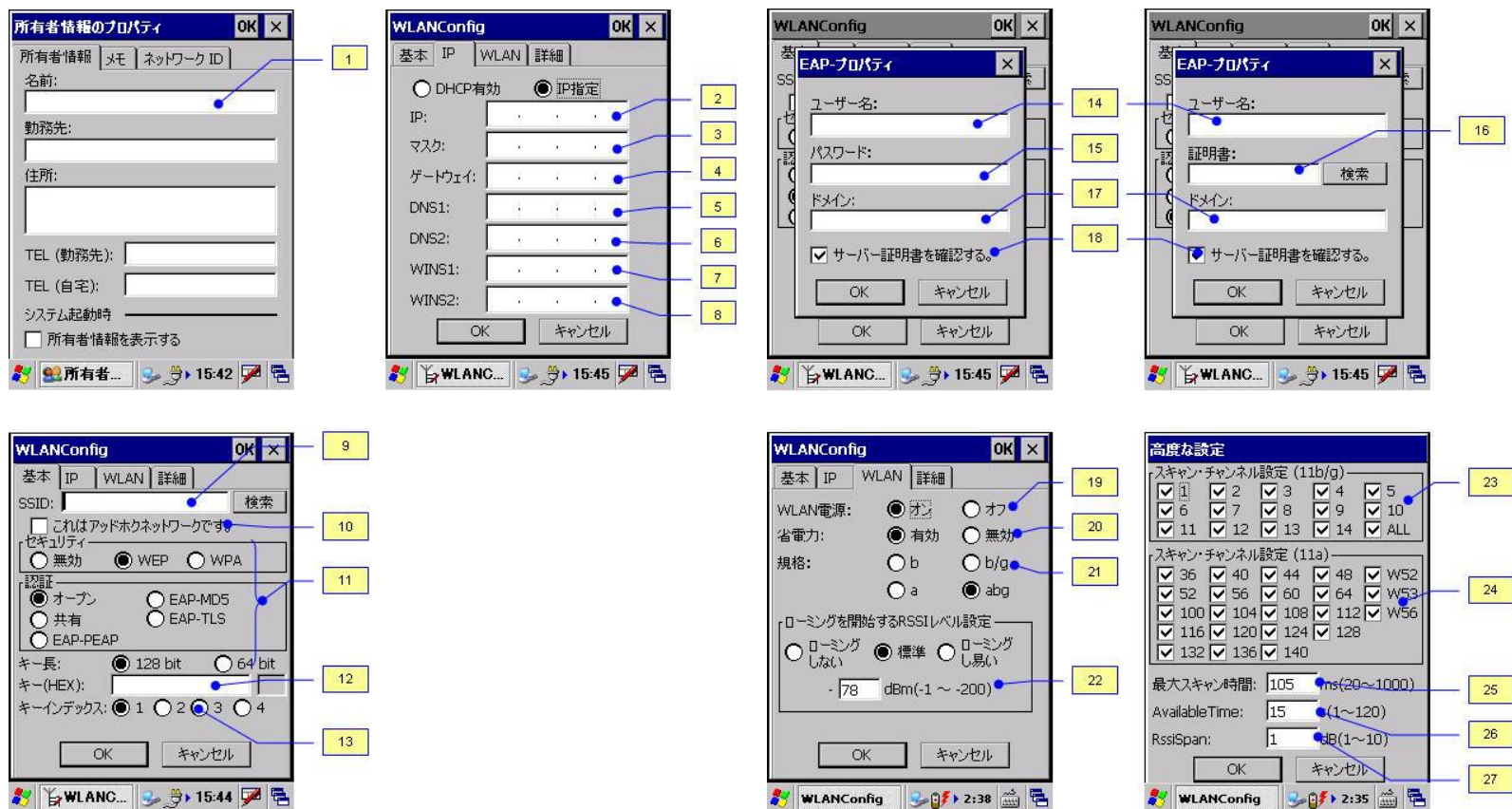
2.機能詳細

2.3. 設定編集

機種と設定項目の設定仕様については、製品のヘルプの「4.付録1」をご確認ください。

2.3.7 設定項目と端末側設定ツール画面例(Windows CE/Mobile)

本ツールの主な設定項目と、端末側の設定ツール「所有者情報」「無線LAN設定」の設定画面との対応表を以下に示します。番号は「2.3.5 端末設定項目詳細」で示した図番号です。



3. 端末設定バーコード 印刷フォーマット

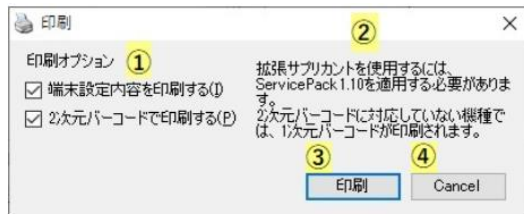
3.端末設定バーコード 印刷フォーマット

※フォーマットは機種の設定に応じ自動的に適用されます。

3. 印刷フォーマットについて

[ファイル]→[印刷]または[印刷プレビュー]を選択した場合、以下のフォーマットで印刷を行います。

- 用紙：
A4縦
- バーコード規格：
Code128、QRコード※
- 印刷オプション



番号	機能	概要説明
1	印刷オプション	以下のような項目があります ●端末設定内容を印刷する 印刷時にバーコードと設定情報を印刷します。 ●2次元バーコードを印刷する 2次元バーコードで印刷します。 2次元バーコードが使用できない場合はチェックを外してください。
2	警告メッセージ	印刷前の警告が表示されます。 ●拡張サブリカントを使用するには、ServicePack 1.10を適用する必要があります。 Windows CE/Windows Mobile で拡張サブリカントを使用する場合、 WLAN基本設定の優先周波数帯を設定する場合に表示されます。 ●2次元バーコードに対応していない機種では 1次元バーコードが印刷されます。 2次元バーコードに対応していない機種を選択した場合、 1次元バーコードと2次元バーコード両方対応している機種で[2次元バーコードで印刷する]項目のチェックを入れていない場合に表示されます。
3	印刷ボタン	印刷するために、印刷ダイアログを表示します。
4	Cancelボタン	「編集画面」に戻ります。

- 印刷レイアウト：
印刷フォーマットについては、次ページをご参照ください。

※QRコードをご使用される場合、DT-X100/DT-X200/IT-G500 ServicePack1.08以上を満たした端末が必要です。

無線LAN設定パカマー

①

2020/6/24 17:12

②

テスト印刷

③

端末番号: 001

バーコード番号: 1

バーコード番号: 2

バーコード番号: 3

バーコード番号: 4

バーコード番号: 5

バーコード番号: 6

バーコード番号: 7

バーコード番号: 8

バーコード番号: 9

バーコード番号: 10

バーコード番号: 11

バーコード番号: 12

バーコード番号: 13

バーコード番号: 14

バーコード番号: 15

バーコード番号: 16

バーコード番号: 17

バーコード番号: 18

バーコード番号: 19

バーコード番号: 20

バーコード番号: 21

バーコード番号: 22

④

端末番号: 002

バーコード番号: 23

バーコード番号: 24

バーコード番号: 25

バーコード番号: 26

バーコード番号: 27

バーコード番号: 28

バーコード番号: 29

バーコード番号: 30

バーコード番号: 31

バーコード番号: 32

バーコード番号: 33

バーコード番号: 34

バーコード番号: 35

バーコード番号: 36

バーコード番号: 37

バーコード番号: 38

バーコード番号: 39

バーコード番号: 40

バーコード番号: 41

バーコード番号: 42

⑤

端末番号: 003

YafuRy+マカリル〜ツグ:200
使用省名: CASIO
AP717L12011150
YafuRy+マカリル〜ツグ:255.255.0
YafuRy+マカリル〜ツグ:120111300
DNS1:1201111
DNS2:1201111
WINS1:1201111
WINS2:1201111
MMU接続方式:ファイル共有
MMUURL:casio/v/mmu
MMU7777:administrator
MMU7777:*****

SSID:CASIOAP
フィク設定:無効
セキュリティ:WPA2PSK
IPv4:****
セキュリティ:
EAPタイプ:
EAP証明書:
EAPタイプ:
EAP証明書:
電源:ON
省電力:ON
接続:always

⑥

端末番号: 004

R/Sシリアル:~794d0m
最大スキャン時間:105 ms
Available Time:15s
RSSI Span:1 dB
ステータス:2.8, 11b/e:
1.2,3.45,6.7,8,10,11,12,13,14
ステータス:2.8, 11b:e
36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64(1001)41
06, 11, 12, 16, 19(124), 20, 22, 26(36)
40

- ・フォーマット1.0 : IEEE 802.11b/g対応モデル
→DT-5300/DT-X7/DT-X8/IT-300/IT-9000
で利用されます。
- ・フォーマット2.0 : IEEE 802.11a対応モデル
→DT-5300(11aモデル)で利用されます。

番号	機能	概要説明
1	日付	印刷開始日時 YYYY/MM/DDフォーマットで表示します。
2	共通タイトル	「2.3.1 編集画面」の共通タイトル文字です。
3	端末名	「2.3.3 設定項目詳細」の端末番号です。
4	端末設定バーコード	端末側のバーコード設定ツールで読み込むバーコードです。
5	共通タイトル	本シートで設定する内容です。EAPパスワード／EAP証明書／MMUパスワード、またSSIDのキー(KEY/KEY2/KEY3)は、その設定が有効な場合、内容に関わらずアスタリスクで隠蔽します。

適用される端末モデルは、
DT-X100/DT-X200/IT-G500
です。

拡張サブリカントを指定している場合
もしくは、WLAN基本設定の優先周波数帯
をNotSpecified以外にした場合はフォー
マット4.0が、それ以外はフォーマット3.0
が自動的に適用されます。

[illegible]

端末設定/ラメータ

端末名: 1234567890123456サンプル

2017/6/9 10:55

Page:1/1

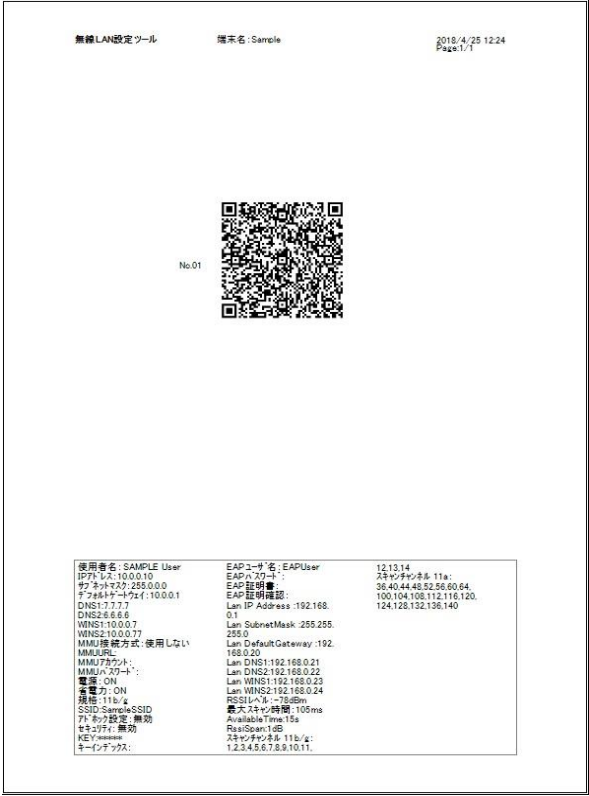
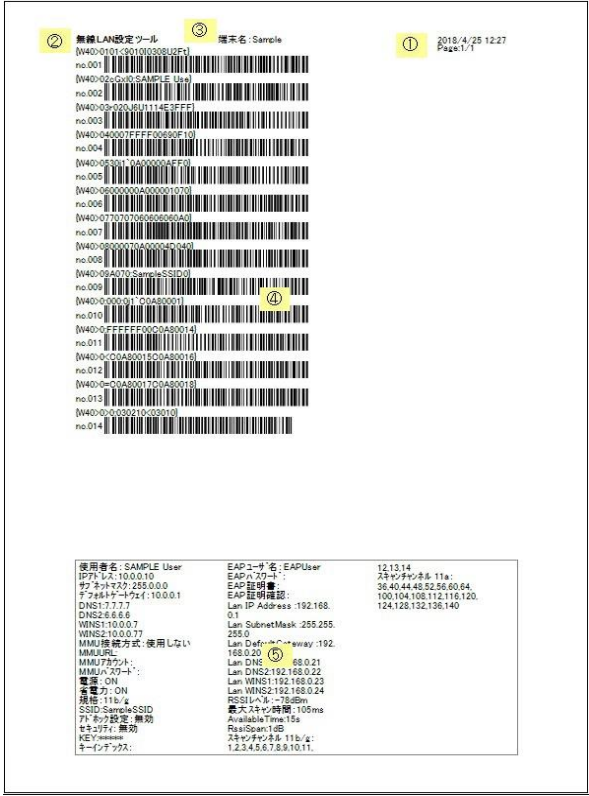
ファイルフォーマットバージョン:	規格: 11b/g	Lan DNS1:255.255.255.255
DT=X100/DT=X200/IT=G500	SSID A123456789012345	Lan DNS2:255.255.255.255
使用番号: ABCDEFGHIJKLMNOP	7ヶ桁設定: 名称	Lan WINS1:255.255.255.255
IPアドレス: DHCP	セキュリティ: WEP(128bit)>EAP-MD5	Lan WINS2:255.255.255.255
サブネットマスク:	KEY:*****	WAN EntryName :A123456789012
サブネットキー:24bit	キーインデックス:1	345
DNS1:255.255.255.255	EAPユーザ名: 1234567890123456	APN:
DNS2:255.255.255.255	EAPパスワード: *****	APNUserName
WINS1:255.255.255.255	EAP証明書	APNPassword:*****
WINS2:255.255.255.255	EAPドメイン: A123456789012345	最大スキャン時間: 10ms
MMU接続方式: ファイル共有	EAP証明確認:	AvailableTime:15s
MMUURL:4255.255.255.255MMUURL:4255.255.255.255MMUURL:4255.255.255.255MMUURL:4255.255.255.255	Lan IP Address: 255.255.255.255	RSSIScan:1dB
MMUパスワード: 1234567890ABCDEF	Lan SubnetMask: 255.255.255.255	スキャンチャネル: 11b/g:
電源: ON	Lan DefaultGateway: 255.255.255.255	12.3.45.56.7.8.9.10.11.12.1
省電力: ON		3:14

番号	機能	概要説明
1	日付	印刷開始日時 YYYY/MM/DDフォーマットで表示します。
2	共通タイトル	「2.3.1 編集画面」の共通タイトル文字です。
3	端末名	「2.3.3 設定項目詳細」の端末番号です。
4	端末設定バーコード	端末側のバーコード設定ツールで読み込むバーコードです。
5	端末設定内容	本シートで設定する内容です。EAPパスワード／EAP証明書／MMUパスワード、またSSIDのキー(KEY/KEY2/KEY3)およびAPNのパスワードは、その設定が有効な場合、内容に関わらずアスタリスクで隠蔽します。

3.端末設定バーコード 印刷フォーマット

※フォーマットは機種の設定に応じ自動的に適用されます。

3.3. フォーマット4.0について



適用される端末モデルは、IT-G600/IT-G650/ET-L10/DT-X400/DT-X450/IT-G400、DT-X100/DT-X200/IT-G500です。

本フォーマットは、Windows CE/Mobileモデルの拡張サプリカント設定を利用する場合に必要となります。(Androidモデルは拡張サプリカント設定は利用できません。)

番号	機能	概要説明
1	日付	印刷開始日時 YYYY/MM/DDフォーマットで表示します。
2	共通タイトル	「2.3.1 編集画面」の共通タイトル文字です。
3	端末名	「2.3.3 設定項目詳細」の端末番号です。
4	端末設定バーコード	端末側のバーコード設定ツールで読み込むバーコードです。
5	端末設定内容	本シートで設定する内容です。EAPパスワード／EAP証明書／MMUパスワード、またSSIDのキー(KEY/KEY2/KEY3)およびAPNのパスワードは、その設定が有効な場合、内容に関わらずアスタリスクで隠蔽します。

4.ご利用上の注意事項

4.ご利用上の注意事項

本ツールをご利用いただくにあたり注意事項をまとめましたのでご確認ください。

- Ver2.10以上で拡張サブリカント設定を利用されるWindows CE/Mobileモデルの場合、端末にサービスパック1.10以上の適用が必要です。
- 標準サブリカント設定を使用される場合、機種設定で“DT-X100/DT-X200/IT-G500”を設定し、セキュリティ設定の「WPA2+EAP-TLS」を使用する場合には、サービスパック1.11以上を適用してください。
- 本ツールで設定もしくは設定変更後、バーコード印刷される前に設定保存と印刷プレビュー機能にて確認されることを推奨します。

もし、設定もしくは設定変更した内容が印刷プレビューに反映されていない場合、一度本ツールを再起動し、設定保存ファイル(.xml)を読み込みなおして再確認ください。

最終ページ